

2018 年 11 月 12 日

平成 30 年度「卓越した技能者(現代の名工)」に当社社員が選出

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、本社:愛知県大口町)の社員で、現在 美濃加茂第二製作所サイバースピンドルファクトリーに所属し、金属加工工作機械の主軸の組立・調整作業に従事する大内 美善(おうち みよし)が、各産業分野の卓越した技能者を表彰する平成 30 年度「卓越した技能者(現代の名工)」に選出されました。

「現代の名工」は、きわめてすぐれた技能を有し、他の技能者の模範となる卓越した技能者を厚生労働大臣が表彰する制度です。

昭和 62 年の入社以来約 30 年間一貫して、金属加工用工作機械の心臓部となる主軸の組立・調整に携わり、特に難易度の高い高速主軸構成部品の高精度化に卓越した技能を有し、高性能主軸量産化のための組立技能の数値化・標準化に努めてきたことが評価され今回の選出となりました。

現在も現役組立技能者として主軸の組立・調整作業に従事し、さらに新機種開発時には試作組立段階から参画して主軸に関する改善点の指摘なども行なっています。また、若手社員の OJT による技術指導など後進の育成にも努めています。

当社の「現代の名工」は、1997 年から昨年までに計 5 名が選出され、今回で 6 人目となります。

「現代の名工」への選出は、本人ならびに会社にとって荣誉であり、今後も当社は高度な技能を有する人材の育成に努め、高性能な工作機械の提供を通して世界のモノづくりの発展に貢献していきます。



工作機械の主軸(スピンドル)の組立・調整作業を行なう大内社員

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください